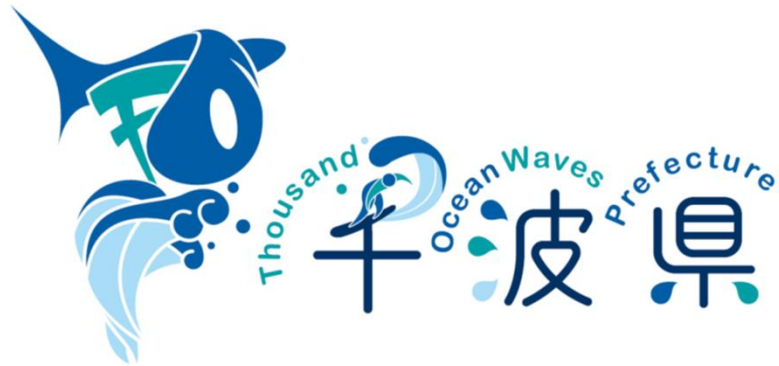




資料 1

「千葉県行財政改革行動計画

（令和 7 年度～令和 1 0 年度）」

令和 7 年度の年間評価について

令和 8 年 8 月 6 日（木）

令和 8 年度第 1 回千葉県行政改革審議会



行財政改革計画について

○ 行財政改革計画の概要

社会経済情勢の変化に伴い複雑・多様化する行政課題や厳しい財政状況に対応しながら、「千葉県総合計画」の着実な推進を行財政面から下支えするため、令和4年3月に「千葉県行財政改革計画」を策定した。

昨年度、行政改革審議会での御審議を経て、令和7年10月に計画の改訂を行った。

○ 行財政改革計画の構成と期間

<行財政改革指針>

「時代の変化に対応した県民視点の県政を実現」を**理念**として掲げ、10年後に目指す県庁の姿（**方針**）、それを実現するための方策（**戦略**）をまとめたもの。

<行財政改革行動計画（令和7年度～10年度）>

個別の取組ごとに、具体的な取組の目標、取組内容、取組工程、指標等を整理した個票を作成し、毎年度取組状況の確認・検証を行う。 ⇒**今回が改訂後初めての年間評価**



個票に掲げる取組の評価方法

○ 前計画時との違い

令和7年10月改訂時の行政改革審議会の答申を踏まえ

- ・「**取組効果**」について、**客観的な指標の達成度を基本として評価**を行った。
- ・**毎年度、前年度の年間評価を行政改革審議会に報告**した上で、公表することとした。

	前計画		現計画
P D C Aの仕組み	各取組の確認・検証の方法が具体的に示されておらず、総合的な評価にとどまっていた。	⇒	客観的な根拠に基づいて評価 するE B P Mの手法を参考に、各取組の進捗状況の確認と効果の検証を行うこととした。
指標を設定した個票	18/全55個票中		48/全55個票中
行政改革審議会への報告	最終結果（最終年度の翌年度報告）		毎年度（翌年度報告）

○ 参考：令和7年10月21日付け千葉県行政改革審議会答申（抜粋）

取組の評価に当たっては、**評価に至るプロセスを明らかにすること**などにより、県民に分かりやすく説明するとともに、**取組ごとに設定した定量的な指標を踏まえて、効果の検証や個票の柔軟な見直しを行うこと**。その際、指標の数値のみに捉われることのないよう留意すること。



個票に掲げる取組の評価方法

○評価基準

各取組に係る個票ごとに、「進捗状況」と「取組効果」の2項目により、標準的な進捗・実績を「B」とする3段階で評価を行った。

「進捗状況」…「取組工程」に対して、進捗が上回っていれば「A」
下回っていれば「C」

「取組効果」…「指標」の目標に対して実績が10%超上回っていれば「A」
10%超下回っていれば「C」
(複数の指標がある場合は、達成率の単純平均で評価)



年間評価結果

概ね計画通りに進捗しているが、一部の取組においては目標を達成できていないため、取組効果の向上に向けて更なる取組が必要である。

○ 進捗状況

令和7年度		
A：予定以上に進捗している		2
B：計画通りに取組を実施した	5	2
C：遅れが生じている		1



A・Bが約98%

○ 取組効果

令和7年度		
A：期待以上の効果が得られた		9
B：期待された効果が得られた	3	7
C：期待した効果が得られなかった		7
未定：集計中等		2



A・Bが約87%

※割合はいずれも未定を除く



主な「取組効果」 A 評価

○ 業務の集約化・一元化の推進（整理番号 1 3）

【指標】業務サポートセンターにおいて各所属からの依頼に基づき請け負った業務数

令和 7 年度目標 400 件 ⇒ 令和 7 年度実績 680 件

【取組内容等】

計画どおり、令和 8 年度からの香取合同庁舎における業務集約に向けて準備を進めることができた。各所属からの業務の集約化への取組として、業務サポートセンターの設置を行い、印刷業務、スキャン支援業務に加え、業務サポートセンターの体制を強化し、目標の 1.5 倍以上の業務依頼をこなすことができた。

※「香取合同庁舎における業務集約により削減された業務時間」の指標もあるが、令和 8 年度からの実施となるため、今回は評価対象外

○ 場所にとらわれない働き方の推進（整理番号 2 8）

【指標】オフィス改革実施所属数（累計）

令和 7 年度目標 7 所属 ⇒ 令和 7 年度実績 9 所属

【取組内容等】

令和 7 年度は新たに本庁 6 所属でオフィス改革を実施し、目標の 7 所属を上回る累計 9 所属での実施となった。令和 8 年度についても本庁 2 3 所属、出先機関 1 所属での実施と、本庁累計 1 7 所属の目標に対し、3 2 所属の実施を予定しており、大きく進捗する見込みである。



主な「取組効果」 A 評価

○ キャッシュレス決済の推進（整理番号 3 6）

【指標】 収入証紙を扱っている使用料・手数料の全収納件数のうちキャッシュレスによる納付が可能な割合
令和 7 年度目標 **27%以上** ⇒ 令和 7 年度実績 **45%**

【取組内容等】

収入証紙を扱っている使用料・手数料のキャッシュレス対応状況について、全庁調査を適宜実施したことにより、現状を的確に把握することができた。その結果、収納件数が多く、キャッシュレス決済に未対応であった所属について、重点的に対応することで、県民の利便性向上に繋げることができた。

○ オープンデータの整備と利活用の促進（整理番号 4 0）

【指標】 千葉県オープンデータサイトへのオープンデータの公開件数
令和 7 年度目標 **1,400件** ⇒ 令和 7 年度実績 **1,635件**

【取組内容等】

計画どおり千葉県オープンデータサイトを再構築し、行政が保有する様々な分野のデータ公開を進め、また、千葉県オープンデータサイト運営要領を策定し、機械判読に適したデータ形式での公開を促進することで、指標を大きく上回って達成することができた。



主な「取組効果」C評価

○ 研修の充実・強化（整理番号5）

【指標】研修プラットフォームで配信するパワーアップ研修の受講者数

令和7年度目標 750人 ⇒ 令和7年度実績 636人

【取組内容等】

研修プラットフォームのシステムを6月に導入し、パワーアップ研修※（eラーニング）の公開が7月になったこともあり、指標（目標）を下回ったものの、「千葉県職員人材基本方針」の策定を踏まえ、キャリア形成支援に向け「キャリア開発研修」を新設したほか、新規採用職員研修をはじめとする階層別研修等での研修科目や講義内容等の見直しを行い、計画どおり職員研修を実施し、研修ニーズや課題を把握することができた。

※職員の資質・能力向上に向けた任意研修

○ 内部統制体制の整備・運用（整理番号15）

【指標】知事部局における研修受講率

令和7年度目標 90% ⇒ 令和7年度実績 67%

【指標】リスクの発生件数

令和7年度目標 715件 ⇒ 令和7年度実績 923件

【取組内容等】

計画どおり、全職員を対象とした研修を実施し、各所属の内部統制の自己評価に対する独立的評価を行い、報告書を議会に提出した。令和7年度から内部統制制度の運用を見直したこともあり、より一層の研修内容の工夫や周知の徹底等が必要である。また、リスクの発生件数については、NHK受信契約の未締結による受信料の不払いが様々な所属で確認されたことなどから、目標を達成できなかった。モニタリングの実施などは一定程度行うことができていたが、更なる実施を図る必要がある。



主な「取組効果」C評価

○ 寄附金収入の確保（整理番号 2 2）

【指標】 寄附受入額

令和 7 年度目標 0.7 億円 ⇒ 令和 7 年度実績 0.4 億円

【取組内容等】

指標（目標）を下回ったものの、積極的な広報や寄附環境の整備を行い、また、生まれ育ったふるさとに寄附を通じて貢献するという、ふるさと納税制度の趣旨に基づいた運用を行いながら、地域課題の解決など、政策目標の実現に向けた事業の実施について検討を進めることができた。ポータルサイト「ふるさとチョイス」を経由した寄附件数は、127件となり、前年度と比較して増加した。

○ デジタル人材育成研修等の実施（整理番号 3 4）

【指標】 DX推進人材の育成（研修受講率）

令和 7 年度目標 100% ⇒ 令和 7 年度実績 86.1%

【取組内容等】

受講率は指標（目標）を下回ったものの、令和 7 年度デジタル人材育成研修計画に基づき、35件の研修を実施し、DX推進人材を対象とした必修研修については、延べ844人が受講するなど、オンライン化やデジタルツールの活用など行政のDXを推進する人材の育成を着実に進めた。



主な個票の見直し箇所

○ ボトムアップ型の政策提案の実施（整理番号 3 1）

【見直し内容】

指標の目標（職員提案で選定された件数：令和 1 0 年度に延べ 1 1 件）を令和 7 年度に達成（延べ 1 1 件）したことから、令和 8 年度以降の目標を各年度単位とし、その目標値の修正を行った。

年度	R8	R9	R10
目標	7件	9件	11件



※各年度2件から3件へ上方修正			
年度	R8	R9	R10
目標	3件	3件	3件

○ オープンデータの整備と利活用の促進（整理番号 4 0）

【見直し内容】

令和 7 年度に指標の目標（オープンデータサイトへのオープンデータの公開件数：1, 4 0 0 件）を大きく上回って達成（1, 6 3 5 件）したことから、令和 8 年度以降の目標の修正を行った。

年度	R8	R9	R10
目標	1, 500件	1, 600件	1, 700件



年度	R8	R9	R10
目標	2, 900件	3, 000件	3, 100件

○ 県民・市民活動団体等との連携・協働（整理番号 5 1 b）

【見直し内容】

より適切に取組を評価するため、指標として、ボランティア活動に参加する意思のある方の数である「ちばボランティアナビの個人登録数」を新たに追加した。

※これまでの指標は「ボランティア活動に参加したことがある人の割合」のみ

年度	R8	R9	R10
目標	5, 539件	6, 539件	7, 539件

